

自社主催のプロモーション事業に注力 受託依存からの脱却 全社員が一丸となり「働き方を誇れる」企業へ

同社は、1960年に印刷会社として創業した。印刷業界の需要縮小の中、新事業進出のため、自社主催イベントや観光事業開発、IT戦略・Web部門拡大を図るメディアプロモーション事業を展開。主催するプロモーション事業を増加させることで受託業務依存からの脱却を実現した。主催事業を推進するために、多様な経験や知見を持つ社員が必要であったため、育児・介護等の「時間制約のある社員」の戦力化を目標に掲げ、全社員で取り組む「働き方改革」の取組を促進。「ワークイノベーション委員会」の設置やリモートワークの導入等を通じて、「働き方を誇れる成長企業NO.1」を目指す。

● 所在地 宮城県仙台市若林区土樋103番地
● 電話/FAX 022-224-5151 / 022-714-8313
● URL <https://www.u-media.jp/>
● 代表者 代表取締役社長 今野 均

● 設立 1960年
● 資本金 6,000万円
● 従業員数 135人



担い手確保

「働き方を誇れる成長企業NO.1」を目指す

育児などの事情で「時間制約のある社員」の戦力化しようと、2015年より2つの部会を設置し、ダイバーシティ経営への取組む。1つ目が「女性の視点」をテーマに、女性社員で構成する部会を設置、年2回以上の「リフレッシュ休暇・アニバーサリー休暇」の制度化、有給休暇取得を促進するため、徹底して「属人的な業務」を無くし、各部門での情報共有促進を実現した。また「育児をする男性の視点」をテーマに、男性社員で構成する「イクメン部会」により、定時退社日「イクメンデー」を宣言、「イクメンバッチ」を身に付け確実に退社する仕組みを確立した。



定時退社日「イクメンデー」を示す「イクメンバッチ」

業務効率化に繋がる情報共有の仕組み

情報共有を促進するため、精神論ではなく、有形の仕組みを導入した。グループウェアで全社員のスケジュールを公開し、共有すべき情報を「掲示板」に一元化している。また、営業フロアに「コミュニケーションスペース」「スタンディングミーティングスペース」を設置し、社員同士が日常の情報交換しやすい環境を作った。これらの仕組みによって情報共有とミーティング時間の削減を実現した。また、営業社員を中心にタブレットPCを配布し、リモートワークを導入、対象社員の時間外労働時間は、年間で25%の削減に成功した。



営業フロア内のコミュニケーションスペース

挑戦と成長を促す人材開発プログラム

人材育成も一方的な教育ではなく、全社員参加型で進められる。毎月1回開催される勉強会「U-Lab.」では、社員が講師となり、教える側も教わる側も、それぞれの立場で学ぶことを目的としている。また、成長著しい若手社員が積極的に経営に参画できる機会を増やすため、新たな中期計画に基づき「経営活性化部会」を組織化した。課長職の社員をリーダーとし、全部門の若手社員10名が参画する社長直轄の部会である。ユニークな取り組みだけでなく、個人の基礎力を高めるため、UCDA認定、印刷技能士、ウェブ解析士などの資格取得を推奨し、受講料の補助を行っている。



社員が講師になる「U-Lab.」

サービス